

区議会レポート

68号



葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：ミニタウンミーティング他

裏面：決算審査特別委員会報告など

2020年10月16日発行

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】 〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

葛飾区議会 令和二年第三回定例会閉会

◆「感染症対策特命担当課」設置へ！

◆10月14日に令和二年区議会第三回定例会が閉会しました。今定例会の一般質問においてかわごえ誠一から「感染症に特化した管理職の配置を含む組織の見直し」を求めました。それに対し、健康部（保健所）内に「感染症対策特命担当課長」が設置されることが決まりました。新型コロナウイルス感染症対策に関して、今まで健康部の保健予防

課が主に対応を行っていましたが、業務量の増加等で他業務への影響もありました。10月16日から新特命担当課が設置され、今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のほか、インフルエンザ予防接種拡充などの対応を専門に行うことになりました。また、デジタル推進担当部長及び同担当課長を設置し、ICT推進や区民サービス向上及び、業務効率化のための環境整備が進められます。

かわごえ誠一 ミニタウンミーティングのご案内

テーマ：マイタイムラインをつくってみよう！

& どうなってる？葛飾の避難所の今 ◆講師：葛飾区地域防災課長 大原 実さん

と き：2020年 **11月5日（木）** 19:00～ 開場 18:45

会 場：かつしかシンフォニーヒルズ 別館4階 ラベンダー 葛飾区立石6-33-1

連絡先 e-mail：info@kawagoeseiichi.com

◆持ち物：当日は筆記用具をお持ち下さい。

※感染症対策及び、会場の都合上事前にご連絡いただくと幸いです。当日はマスク着用でのご参加をお願いいたします。また、せき・発熱など体調不良の方は参加を控えていただきますようお願いいたします。

◆新型コロナウイルス感染症対策のため、しばらくの間タウンミーティングを休止しておりましたが、区のイベント再開等も踏まえ、感染症対策に注意をしながら再開することにしました。◆今回のテーマの「マイタイムライン」とは、台風などの風水害に備え、時系列にそって事前に準備することを記入し、緊急時に行動できるようにするものです。今回は風水害に備えて注目されている「マイタイムライン」を実際に作成し、災害時に必要なことを学ぶとともに、葛飾区の避難所の状況を伺いたいと思います。

■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail：info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動は Facebook をご覧ください。

◆かわごえ誠一プロフィール◆

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒業

●立石在住32年 ●一男二女の父親 ●保育園/学童保育クラブ父母会、

小中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワーク、保田

しおさい学校、三番瀬保全活動などに携わる。●元東京工業大学附属

科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団員 ●葛飾区ポッチャ

協会会長 ●元都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員

選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●区議会所属：文教委員会・副

委員長/地域活性化・区民サービス向上対策特別委員会/広報委員会

葛飾区議会 令和二年第三回定例会閉会 第五次・第六次補正予算議決

◆第五次補正予算 40億6404万4千円

◆今回の定例会では第五次補正予算として新型コロナウイルス感染症対策経費や新生児特別定額給付金（令和2年4月28日から12月31日までに生まれた新生児、一人10万円給付）、営業時間短縮感染拡大防止協力金など含む40億6404万4千円が上程され議決されました。

◆第六次補正予算 5億1153万1千円

◆定例会最終日の10月14日に追加議案として第六次補正予算が上程され、都助成対象以外の介護施設や障害者施設の新規入所者や濃厚接触者以外の職員、入所者へのPCR検査費用助成及び、高齢者へのインフルエンザ予防接種費用5億1153万1千円が議決されました。

葛飾区議会 令和元年度決算審査特別委員会報告

10月2日から四つの分科会に分れ令和元年度の決算審査が行われました。今回は区民連合としての決算意見をご紹介します。

◆危機管理や地域ニーズを的確に把握し、 効率的・効果的な財政運営を求める。

■総務管理費■◆ふるさと納税の寄附件数及び金額の増加を評価の上、今後、返礼品の創意工夫を図り、歳入確保や地域活性化の充実を求める。◆個人情報保護は人的ミスによる個人情報の漏えいの再発防止策として、システム改修などを求める。◆協働ホームページは改善を求める。◆行財政改革推進は行政評価の記述に予算規模も明示し、外部評価の審査など工夫を求める。◆文化振興経費は文化会館の避難所使用料や新型コロナウイルス対応など指定管理者への補填について区内企業との比較を前提に改善を求める。

■産業経済費■◆創業支援は、国や中小企業振興公社の制度への上乘せなどの充実を求める。

■社会福祉費■◆生活困窮者自立支援事業の学習支援は、法改正に基づき関連施策との連携を求める。◆放課後等デイサービス連絡会は、緊急時の学校からの情報提供を求める。◆社会福祉協議会助成は事業・サービスの一層の周知を求める。◆障害者地域生活支援事業は、移動支援の対象拡大と、居宅訪問型児童発達支援の制度の検討を求める。◆障害者支援は、レスパイト等家族支援を評価し、地域での受け皿となる施設の整備を求める。

■児童福祉費■◆子育て支援拠点施設は、子育て支援施設の整備方針に則り、想定されるサービスを基にした設計及びネットワークの構築、公園との一体的整備を強く求める。◆若者相談事業は地域の支援団体との連携を求む。◆マタニティパスは事業の目的を明確にし、目的に即した方法の模索を望む。◆児童相談所建設は職員の質を担保し、関係機関の連携体制の強化を切に要望する。

■衛生管理費■◆精神保健教室は自殺対策も視野に入れ、依存症当事者や支援団体との連携を求める。◆家族会支援はヤングケアラーも含めた支援のあり方の検討を求める。

■公衆衛生費■◆難病対策は世界希少・難治性疾患の日なども視野に、希少難病の社会的認知の推進を求める。

■環境費■◆交通騒音・振動調査は、羽田空港発着飛行

ルートによりエンジン音や落下物の課題があり、継続的な騒音とルートの調査実施について国への強い働きかけを求める。◆屋上・壁面緑化推進は政策目的を認識した対応を求まる。◆電気自動車普及促進は電気料金の受益者負担の検討を求める。◆雨水利用促進は今後、環境施策として再検討せよ。

■清掃費■◆ごみ収集作業は被災地へ派遣した職員の経験を各計画へ反映せよ。◆清掃職員は研修や一定のスキル醸成に努め、受援体制や差配・回収等災害時のリーダー育成を求めるとともに、今後の緊急事態宣言などを想定し、感染症ごみ対応等への危険手当などの検討をせよ。

■街づくり費■◆堀切地区まちづくり事業は、京成本線荒川橋梁架替工事を契機に土地の利活用と、駅周辺のまちづくりに向け京成電鉄へ強い投げかけを求める。

■教育総務費■◆学校図書館支援は体制充実を評価し、一人一端導入を想定し、デジタル資料購入などの検討を求める。◆教育情報化推進のための教育委員会内の体制整備を求める。◆教職員健康管理の心理的負担検査は受検数向上を評価し、精神疾患での休職者数の増加を踏まえ、予防策の拡充を求める。◆中学生海外派遣は新型コロナウイルスを考慮し、海外の学校とのオンライン交流の実施など体制整備を求める。◆にほんごステップアップ教室と日本語学級は更なる拡充とともに、特別支援などの総合教育センターの機能を活用した複合的な支援を求める。

■幼稚園費■◆発達に心配のある子どもへの対応など公の役割の検討を求める。

■社会教育費■◆放課後子ども支援事業の今後の方向性を早期かつ丁寧に説明することと合わせ、本区の子どもの育成方針を明確にし、放課後事業に関わる事業者の地域での統一などの検討を求める。◆文化財保護は地域の道標・石仏などの保存のための環境整備を求める。

■各特別会計■◆概ね了とする。分科会長として発言するかわごえ

